

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------|----|--------------|
| ○事業所名 | 凜近江八幡 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 2月10 日 | | ～ 2025年3月1 日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 43 | (回答者数) |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 2月10 日 | | ～ 2025年3月1 日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | | (回答者数) |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 3月1 日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|---|
| 1 | 利用者さんや保護者様の安心感や満足度が高く楽しくご利用いただくと | お子様や保護者様の安心感や満足度が高く、楽しくご利用いただいている。 ・事前の支援会議の機会を通して、個々に沿った活動設定や目標設定を行うことができる。 ・活動や玩具、器具の種類が多く、選択肢が充実している。 ・利用児に対しての支援・声掛けの手法を共有しており、肯定的に活動へ取り組むことができている。 | ・支援者の手技、技術向上を狙った研修、情報共有の機会をより充実させる。 ・活動や玩具、器具の定期的な入れ替えや新しい取り組みを検討する。 |
| 2 | 利用児を多角的な視点で評価・支援する事が出来る | ・医療職・保育士・看護師などの配置があり、それぞれが専門的な視点を持って評価やアセスメントを行い、支援に活かしている。 利用児を多角的な視点で評価・支援することができる。 ・保育所等訪問支援も実施する多機能型事業所であるため、園等の地域での様子や就学後の情報などを踏まえて支援を検討している | ・職員研修や事業所内会議、情報共有の場の充実を図る。 ・外部研修の機会を積極的に活用する。 ・家庭での様子をより細かく把握できる仕組み、アセスメント方法を検討して行く |
| 3 | 保護者へ現在の発達状況を心理士のアドレスに基づきお悩みについての助言などを適切に行っている | ・定期的な評価・アセスメントをもとに情報共有を行うため、利用児がどれだけ成長したか、より客観的な視点で判断することができる。また現在の支援効果の評価もできるため、家庭での利用児との関わり方についても的確な助言を行いやすい。 | ・保護者がアセスメントや支援の内容理解をより図れるよう 共有機会、手段の拡充を図る。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|----------------------|
| 1 | 地域住民との関りが少ない | ・感染や防犯面を考慮した際は、当事業所主催のイベント地域住民の方をお招きする | |
| 2 | | | |
| 3 | | | |